令和６年２月９日 発行

鶴が丘１丁目町内会　会報153号

鶴が丘ライフ

Tsurugaoka Life

表紙写真について

令和６年新年祝賀会の模様を掲載いたしました。参加者数は、コロナ前に比べ半数程度でしたが、時節柄余裕をもった会場配置となり和気あいあいと親睦を図ることが出来ました。

掲載内容

〇令和6年新年祝賀会が開催されました
〇落葉清掃と文化イベントの合同開催
〇防災意識の強化(令和６年能登半島地震発生をみて)
最近の地域情報１
〇凍結防止剤配布について
最近の地域情報２
〇今年度最後の一斉清掃と花苗植え活動について
〇菜園づくり活動だより
〇花壇づくり活動だより
編集後記

令和6年新年祝賀会が開催されました

恒例となっている一丁目町内会新年祝賀会は、コロナ感染症の関係により３年間の空白があったものの今年開催することが出来ました。コロナ感染症が５類に移行したものの現状の感染状況やインフルエンザ感染者の増加もあり、参加申込者数が少ない場合は、中止することも踏まえながらの計画でしたが、約６０名の皆さんの参加申し込みがあり、開催の運びとなったものです。(表紙に写真掲載)

開催日：令和 6年1月 7日（日）10：３０～12：45

場　所：鶴が丘コミュニティセンター（ホール）

新年祝賀会は、森本会長の開会挨拶と岡村副会長の乾杯で宴がスタートし、最初の出し物として3人ユニットの「AWA（アワ）」の「新春歌謡ショー」で盛り上がり、ボーカル兼MCが標準語が面倒だらズーズー弁でいくから・・とまた盛り上がり、紳士なベースとちょっと派手目なピアノ＆ボーカルの皆さんありがとうございました。

続いてカラオケタイムとなり、皆さんの歌手顔負けの熱唱と、ステージ衣装も良かったですね。最後はお楽しみ「お年玉抽選会」となり、ウァーと言う声！、ヤッターと言う声！、賞品を受取り「こりゃー重い」・・と最後まで盛り上がりをみせて終了いたしました。

落葉清掃と文化イベントの合同開催

11月２６日(日)令和５年最後の行事となる町内一斉の落葉清掃と文化イベントを合同で開催しました。

落葉清掃は、10:00～11:00にバス通りの鶴が丘入口から県民の森入口バス停と一丁目公園およびその周辺を各地区分担し実施しました。年3回行われる一斉清掃とは分担地域が異なることで、一部戸惑いの声もありましたが、大人約200人、子ども約50人の皆さんに参加を頂き、他に大学生や泉松陵高校の学生にも参加をいただきました。

文化イベントは、一丁目公園において落葉清掃に先立ち焼き芋用炉づくりや、会場づくり、リハーサルと併行しながら準備を進め、落葉清掃が終了したころ合いで「子どもコーナー」「焼き芋やスイートポテトの提供」を行い11:00～11:30に「マリンバ演奏(国分さん・田村さんペア)」そして「演奏とコーラス合唱(東北学院大学聖歌隊)」による音楽イベントが行われ楽しい時間を過ごしました。

町内会役員の皆さん、ご協力を頂いた婦人協力会、青年協力会、子ども会、学生応援隊の皆さん、大変お疲れ様でした。

落葉清掃

子ども達も参加してくれました！

泉松陵高校生も参加してくれました！

文化イベント

焼き芋準備

焼き芋行列

スイートポテトも美味しかった！

子どもコーナー

マリンバ演奏(国分さん・田村さんペア)

演奏とコーラス合唱

防災意識の強化（令和6年能登半島地震発生を見て）

令和６年元旦の日に正月気分を吹き飛ばす出来事が発生しました。１３年前を思い出す状況が石川県能登半島を中心に発生し、多くの方々が被害を受け避難生活を余儀なくされております。
災害は、いつ来るか分かりません。平時に備えることが大切だとつくづく考えさせられました。

［一丁目町内会防災安全委員会］

「防災意識の強化」

《災害に対して日常的に、自らが被災し得る存在であることや、情報的・物的・社会的備えが必要であるとことを認識している度合い、また、自分や周囲の人の命や財産、地域の文化や共同体を自ら守ろうとする程度》と定義　（「防災科学技術研究所･東京国際大学 島崎 敢･尾関 美喜(2017)」より引用）

平成　７年阪神淡路大震災（１９９５．１）
平成２３年東日本大震災　（２０１１．３）
平成２８年熊本地震　　（２０１６．４）

令和 ６年能登半島地震　　（２０２４．１）

【被災状況】・・発生から一週間後の新聞記事（2024.1.8 河北新報朝刊より）

石川県で最大震度７を観測した能登半島地震で、７日現在で死者128人、連絡が取れない安否不明者195人と公表した。被害はさらに拡大するとみられる。停電や断水も続いており、生活インフラも復旧遅れが出ている。
避難は長期化の様相だが、道路が寸断され物資輸送も遅れている。避難者は2万9千人といわれており、支援物資も十分に届いておらず、トイレなど衛生面での懸念も出ている。

鶴が丘一丁目町内会では、年１回避難所運営訓練を実施していますが、先の震災と能登半島地震の脅威を見ると、被災者の安全・安心の拠り所として、避難所運営訓練の重要性は益々求められると考えます。

「避難所運営の課題」
１．避難者の受け入れ。（暑さ寒さ＆プライベートの問題）
２．トイレの問題。（使用不可の場合や、トイレの不足問題、手洗いの水問題）
３．災害時要援護者の対応。（要援護者の意向や隣近所の支援お願い）
４．避難所内の警備。（女性・子どもに対する危険回避）
５．その他。（備蓄食料品等）

大きな災害が発生した直後は、行政による支援が間に合いません。いざという時に頼りになるのは、町内会などの地域の方々や、隣近所をはじめとした住民同士の助け合いです。
防災安全委員会としても最善の努力はしますが、数年で役員が交代するので難しい面もあります。
私たちの地域の安全・安心は、私たちで構築するのが第一義ですので、自助・共助の取り組みで皆さんと一緒に取り組んでいきましょう。

最近の地域情報１

凍結防止剤配付について

今冬も仙台市より町内会に凍結防止剤が配布されました。会員の皆様のお宅付近で、道路凍結等で危険と思われる状況が発生した箇所がありましたら、凍結防止剤の散布にご協力をお願いします。
凍結防止剤は、例年通り各地区単位に配布しておりますので、必要な方は、各地区長または班長にお申し出ください。

［標準的な散布量］
凍結防止剤は１袋5kgです。１m²当り約50g程度の散布になりますので、１袋で約100m²に散布できます。

［泉区道路課で設置した凍結防止剤ボックス］

日陰で坂道箇所等に凍結防止剤入りボックスが一部設置されていますで、付近道路への散布にご利用ください。

最 近 の 地 域 情 報 2

今年度最後の一斉清掃と花苗植え活動について

○ 10月15日(日)6:30～今年度最後の一斉清掃活動を行いました。共用する公園や遊歩道，メイン道路等の清掃活動として各班より参加を頂きました。ご協力ありがとうございました。

○ 秋の花苗植え活動も一斉清掃日に併せ，役員の皆さんが中心に各公園・集会所に季節に合った花苗に植え替えを行いました。

一斉清掃と花植えに150名以上の皆さんに参加を頂きました。

今年度最後の一斉清掃活動

秋の花苗植え活動

菜園づくり活動だより

10月22日(日)にさつま芋収穫を行いました。多くの皆さんに参加頂き、一斉に掘り始め、次から次へとさつま芋が掘り起こされました。猛暑で育ち具合が心配だと言っていた岡村リーダーもほっとしたようです。

別畝ではダイコンの収穫を子どもたちが挑戦していました。

菜園づくり活動メンバーの皆さん水やりや除草作業などお疲れ様でした。

花壇づくり活動だより

花壇づくり活動は、春に向けてのチューリップ球根の植付けとビオラ・パンジーの苗を植え付けました。11月15日(水)に鶴が丘小学校の６年生の皆さんにお手伝いを頂き球根の植付けを行い、11月18日(土)には、花壇づくりメンバーの冬前の最終活動として残りの球根と花苗の植付けを行いました。

2月1日(木)に通りかかった時、いっぱい芽が出ているのを確認しました。

編 集 後 記

前町内会長 鶴谷 民司 氏におかれましては、11月8日(水)仙台市より「町内会役員永年勤続表彰」（町内会長5年以上勤続退任表彰）の表彰を受けられました。あらためて敬意を表します。

今回の鶴が丘ライフは、今年度最終号となります。コロナ禍後での行事が通常開催となりその模様と、地道な清掃活動等を取り混ぜながら、町内会活動へご参加とご理解を頂きたく活動の姿が見えるように掲載して参りました。1年間ありがとうございました。　　(記 佐々木)

ホームページQR